

世界中が泣いた人生がある…。

ドキュメンタリー映画

# with...

## 若き女性美術作家の生涯

“With...” —The Life of a Young Artist—



### 受賞

- 「日本賞」ユニセフ賞(特別賞)
- 「アジアテレビ賞」第2位
- 「アジア太平洋放送連合賞」審査員推奨
- 「国際エミー賞」アジア代表
- 「上海テレビ祭」優秀作品
- 「ニューヨーク祭」優秀賞

### 推薦

- 国際連合児童基金(ユニセフ)
- 文部科学省特別選定作品
- 優秀映画鑑賞会推薦

監督・プロデューサー：榛葉 健 / ナレーター：石田敦子 / 朗読：堀 素子  
 撮影：丸山幸之輔 新家克巳 榛葉 健 / 編集：西村周也 / 制作：辰巳隆一  
 音楽：酒井 亮 / 協力：佐野京子 朝尾伴啓 ネパールの子供を育てる会 / 主題歌「夢の途中」ALMA  
 上映協力：サムシングリアル 三陸紙工 シースペース 製作・著作：毎日放送

2001年作 カラー・スタンダード・60分 ドキュメンタリー  
 配給「with...若き女性美術作家の生涯」全国上映委員会  
 関連書籍：佐野由美 著「ネパール滞在日記 パタンの空より」シーズ・プランニング刊

<http://with2001.com/>

## 映画を観て被災地支援

### 《いのち》のドキュメンタリー2作品

2014年1月18日(土)

10:30~上映

兵庫県立文化体育館(小ホール)

2014年1月18日(土)

13:00~上映

兵庫県立文化体育館(小ホール)

ドキュメンタリー映画

# うたごころ

2012

いのちは

生きる方向に向かう



ドキュメンタリー映画「うたごころ」製作委員会  
 [URL] <http://www.utagokoro.info> [MAIL] [contact@utagokoro.info](mailto:contact@utagokoro.info)

# 映画を観て被災地支援

## 震災を生き抜く、“いのち”のドキュメンタリー2作品

“震災を風化させない” “被災地を知る支援”

東日本大震災から3年。阪神・淡路大震災から19年。

かつて未曾有の災害を経験した神戸でも、2つの震災の風化は、日に日に進んでいるのではないのでしょうか？ 私たちは、今なお困難を抱えながら生活される被災地の方々に想いを馳せ、いつか来る震災を生き抜く手がかりを、皆様に五感で感じる機会をお届けしようと、2つの震災を生き抜いた若き女性の心にふれるドキュメンタリー映画2作品を上映します。

「with…」の佐野由美さんのふるさと神戸長田で。三陸の「うたごころ」とともに。

今回は特別に、榛葉健監督から2作品に込めた“いのちへの想い”についてご講演頂きます。

開催日 2014年1月18日(土)

会場 兵庫県立文化体育館(小ホール) 【定員130名・先着順】  
神戸市長田区蓮池町1-1 山陽電鉄「西代駅」徒歩1分 / JR「新長田駅」徒歩10分

### プログラム

①「with…若き女性美術作家の生涯」	②「うたごころ」2012年版
10:00 開場	12:45 開場
10:30 上映	13:00 上映
11:35 榛葉健 監督講演	15:00 榛葉健 監督講演
12:00 エンディング	15:30 エンディング

### 【参加種別と参加費】

①「with…若き女性美術作家の生涯」+榛葉監督講演 1,500円

②「うたごころ《2012年版》」+榛葉監督講演 2,000円

①+②両プログラムセット 3,000円

※経費を除く収益は「南三陸町災害復興寄付金」に寄付します。

【参加方法】※事前申込か前売券が必要です。

### ■ 事前申込

こくちーずサイト <http://kokucheese.com/event/index/128447/>  
もしくはメール [with118uta@yahoo.co.jp](mailto:with118uta@yahoo.co.jp)

※参加者全員の方のご氏名・お住まいの市区町村名・

参加種別① or ② or ①+② をご連絡ください。

※会場の都合で130名先着となります。お早めにお申込みください。

※参加費は上映会当日、受付にてお支払ください。

※当日券は残席がある場合に限り販売します。

### ■ 前売券

実行委員会スタッフにより販売します。

下記連絡先までお問い合わせください。

【主催・お問合先】「神戸と三陸を結ぶ映画会」実行委員会

[with118uta@yahoo.co.jp](mailto:with118uta@yahoo.co.jp) 090-6325-7808(代表 畑 文隆)



監督プロフィール  
榛葉 健  
Takashi Shiba

1963年東京都生まれ

1987年、毎日放送に入社。社会派から自然、スポーツまで幅広くドキュメンタリーを制作し、日本テレビ技術協会賞、坂田記念ジャーナリズム賞など受賞多数。世界最高峰チョモランマの2年間に及ぶ取材では、登山家が放置する大量のゴミを世界のテレビで初めて告発した。1995年以降、阪神・淡路大震災の番組15本を制作。

そのうちの1作『with…若き女性美術作家の生涯』は、「日本賞・ユニセフ賞」「アジアテレビ賞」「ニューヨーク祭優秀賞」などを受賞。世界的反響を受け、2001年に、日本のビデオドキュメンタリー番組として初の映画化。

東日本大震災発生後は、私費を投じて2年間宮城県南三陸町などに通い続け、「うたごころ」シリーズを制作している。

ドキュメンタリー映画

## with… 若き女性美術作家の生涯

“With…” —The Life of a Young Artist—

## 劇映画を超えた真実の物語

2000年以降、世界各地で絶賛された、日本のテレビドキュメンタリーが、映画になって再び世界へ。

言葉も知らない、資金もない、知人もほとんどいない。頼れるのは、自分の美術の才能だけという主人公の佐野由美さん。大学卒業と同時にネパールに渡り、貧困地区の小学校でボランティアの美術教師になります。彼女は、あの阪神大震災で神戸の自宅が全壊し、ガレキの中から命拾っていました。そして、多くの人々から支えられた経験が、彼女を変えたのです。

私は望んで、ここまで来た。

私は ここで探すものがある

美術作家であることを「世の中での自分の使命にしたかった」と志した彼女が、貧困下で生きる人々と日々ふれ合うことで、社会の矛盾に悩み苦しみながらも成長していきます。そんなみずみずしい姿に、誰もが本当の「生きる意味」を見つけてほしい…。

1998年から4年がかりで撮った映像は圧倒的な説得力です。



佐野由美 (さの ゆみ)  
Yumi Sano

1975年、神戸市長田区生まれ。1998年3月、大阪芸術大学美術学科首席卒業。同年4月～翌年4月、NGOの長期先生派遣事業に参加。1年間ネパール・パタンに滞在。ラリット福祉小学校で美術指導を行う。滞在中、美術作家として創作活動に精力的に取り組む。2001年4月、ギャラリーほりかわ(神戸)で滞在中の作品を中心とした個展が開催された。その後、各地で開催されている。

「神戸・長田スケッチ 路地裏に綴るこえ」(六甲出版)、「ネパール滞日記 パタンの空より」(シーズ・プランニング)



## 大反響シリーズ最新作 ついに登場

東日本大震災の被災地・宮城県南三陸町を舞台に、女子高校生たちのひたむきに生きる姿や、心の奥にある純粋さを描いた映画として、全国で大きな反響を呼んでいるドキュメンタリー映画「うたごころ」シリーズ。日本社会が被災地を“他人事”にしていまいかと静かに問うた第1作《2011年版》に続き、最新作《2012年版》では、“魂”の本質に迫ります。現地に通い続けている榛葉健監督は言います。「震災で生きる希望を無くした人、そして震災に限らず、さまざまな苦難を抱える人たちに、自ら《生きる力》をつかみ取ってもらうために、この映画がある」と。

被災した人々の“想い”を見せ物にせず、ありのまま伝えることで、地元の方々、そして全国から支持されている「うたごころ」。初めて観る方にもご理解頂けるよう、《2011年版》の要素を盛り込みながら、新たな心の地平をお届けします。

現在、英語版、中国語版を制作中。2013年、海外にも進出予定。

## Story

宮城県三陸地方にある小さな町。一帯が津波に流された中、ひたむきに生きる女子高校生がいた。彼女は、親類5人と自宅を失った。日本の片隅で、ささやかな幸せを願って生きてきた。「次、何かあったら、自分の命を投げ打ってでも、父ちゃん、母ちゃんを助ける…」少女が大切にしていたのが「合唱」。「歌は、みんなをつなげてくれるから…」大阪の合唱グループとの友情。次第に明らかになる、少女の生い立ち。パズルのような家族関係が、苦難を経て、更に強く結ばれていく。やがて来る卒業、新たな人生の選択…。人間の強さと弱さ。それでも生きる希望を忘れない少女たち。歌声に込めた“祈り”が、人々の“心”を動かす日を信じて…。